

# 合唱団「つむぎ娘」が初公演

## 平均年齢 80 歳、元気いっぱい童謡熱唱

栃木県小山市絹地区で活動する女声合唱団「音つむぎ合唱団『つむぎ娘』」が12月26日、城西総合健診センターでコンサートを開きました。つむぎ娘は、1年前の敬老の日に、ピアノ演奏者の落合尚子さんとソプラノ歌手の奥山茂里さんが地元の高齢者を対象に演奏会を開いたところ、「私たちも歌いたい」という声が挙がり、結成されました。

団員は、90歳の落合さんの祖母、落合かつさんが最高齢で、63歳までの15人。平均年齢約80歳で、全員が結城紬の機織りをしていたことがあり、合唱団名を「つむぎ娘」に決めたといひます。

約1年間、地元で練習を積み重ね、今回が初のコンサート。童謡を中心に、元気いっぱいの歌声で、ハンドベルや民舞も取り入れたステージを披露していただきました。会場には約120人の地元の人やヒューマン・ハウス、すばるの利用者さまも駆け付け、「青い山脈」や「りんごのうた」、「花」「茶摘み」など日本の四季メドレーなどの歌声に聞き入っていました。途中、落合さんが音楽を教える子供たち12人も飛び入り参加。第2部では奥山さんが「オーソレミオ」や「初恋」などのオペラ、手話を使って「いのちのうた」を披露し、会場を魅了しました。最後は「上を向いて歩こう」を会場に詰めかけた人とともに合唱し、フィナーレを飾りました。

平成29年  
12月27日

